サポート情報記事

Azure DevOps Query Viewer: セットアップとクエリの接続

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4
要件 4
ページに **Web** パーツを追加する 5
「未構成」のチェックリスト 5
組織、プロジェクト、クエリを接続する 6
サポートされるクエリの種類 7
その他の設定 8
用語 10

概要

Vitextra My Tasks ソリューションには、2 つ目の Web パーツとして **Query** (製品名は **Azure DevOps Query Viewer**) が含まれています。この Web パーツは、Azure DevOps に保存されているクエリの結果を **SharePoint** ページや **Microsoft Teams** のタブに直接表示します。チームは、ふだん作業している場所を離れずに、作業項目を確認できます。列、順序、フィルター条件はクエリ自体で決まるため、Azure DevOps で管理します。

この記事では、Web パーツの追加方法、組織・プロジェクト・クエリへの接続方法、サポートされるクエリの種類、基本設定の内容を説明します。複数のクエリを使用するタブ、グループ化、コマンド バーについては、KB10305. Azure DevOps Query Viewer: 複数のクエリ タブ、グループ化、検索、列のリセットで説明しています。

要件

Web パーツを構成する前に、次の点を確認してください。

- My Tasks ソリューションがテナントにインストールされていること。詳しくは、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照してください。
- テナント管理者が、SharePoint 管理センターの **詳細設定 > API アクセス**で、Azure DevOps のアクセス許可 **user_impersonation** を承認していること。詳しくは、KB10303. My Tasks: 必要なアクセス許可、プライバシー、セキュリティを参照してください。
- Azure DevOps の組織が、**Microsoft 365** と**組織の設定 > Microsoft Entra**)。
- 自分と、ページを閲覧するユーザーが、Azure DevOps 組織のメンバーであり、プロジェクトにアクセスできること。
- 表示したいクエリが Azure DevOps に保存されており、そのクエリを開けること。

警告

Web パーツは、サインインしているユーザーとして Azure DevOps を呼び出します。閲覧者には、Azure DevOps で表示が許可されている作業項目だけが表示されます。プロジェクトにアクセスできないユーザーには、SharePoint のページ自体は表示できる場合でも、Web パーツはエラーまたは空の一覧を表示します。

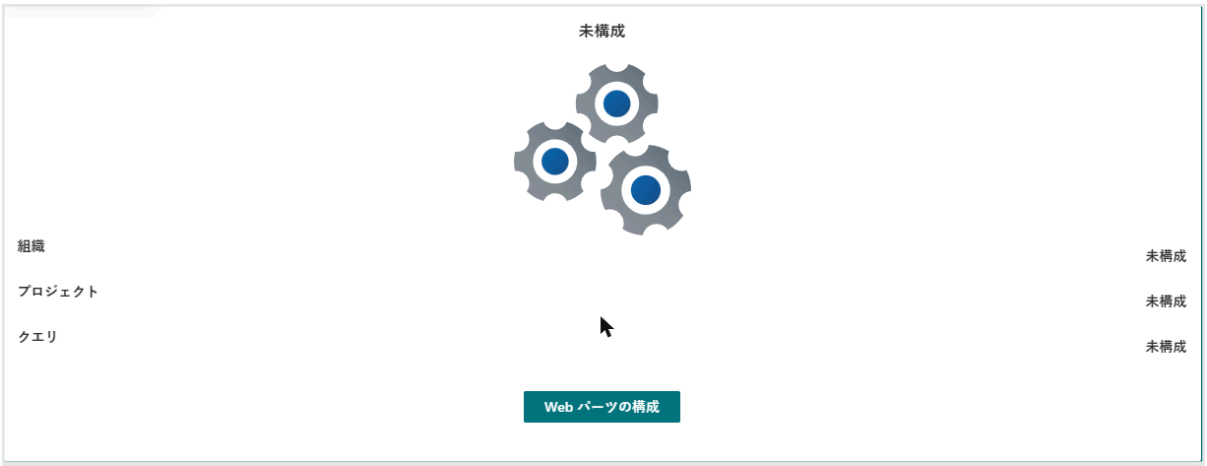
ページに Web パーツを追加する

1 SharePoint ページを開き、**編集**をクリックします。
2 一覧を表示するセクションで **+** (新しい Web パーツの追加) をクリックします。
3 「Azure DevOps Query」を検索して選択します。
4 Web パーツが**未構成**のメッセージとともに表示されます。次のセクションに進みます。

Web パーツが一覧に表示されない場合は、ソリューションがサイトに展開されていないか、サイトでアプリ カタログを利用できません。詳しくは、KB10035. SharePoint Online に Vitextra 製品をインストールする方法を参照してください。

「未構成」のチェックリスト

組織、プロジェクト、クエリが選択されるまで、Web パーツには、**組織**、**プロジェクト**、**クエリ**の 3 項目のチェックリストが表示されます。設定済みの項目の横にはチェック マークが付くため、不足している設定がわかります。編集モードでは、チェックリストに、プロパティ ウィンドウを開く **Web パーツの構成**ボタンも表示されます。ページの閲覧者には、ボタンのないチェックリストが表示されます。



「Web パーツの構成」ボタンがある「未構成」のチェックリスト

組織、プロジェクト、クエリを接続する

プロパティ ウィンドウを開きます (**Web パーツの構成**、または Web パーツの鉛筆アイコンをクリックします)。**データ ソース**グループで、次の操作を行います。

1 **組織**ドロップダウンで、Azure DevOps の組織を選択します。一覧は自動的に読み込まれ、サインインに使用したアカウントの組織が表示されます。組織を変更すると、プロジェクト、クエリ、追加のクエリがリセットされます。
2 **プロジェクト**ドロップダウンで、プロジェクトを選択します。一覧は名前順に並んでいます。プロジェクトを変更すると、クエリと追加のクエリがリセットされます。
3 **クエリ**ドロップダウンで、保存済みのクエリを選択します。クエリはフォルダー パス付きで表示されます (例: *Shared Queries/Active Bugs*)。

3 つの値がすべて設定されると、Web パーツが作業項目を読み込み、チェックリストが一覧に置き換わります。



組織、プロジェクト、クエリの選択

同じグループには、**追加のクエリ 1**、**追加のクエリ 2**、**追加のクエリ 3** のドロップダウンがあります。これらを使用すると、Web パーツが複数のタブに分かれて表示されます。詳しくは、KB10305. Azure DevOps Query Viewer: 複数のクエリ タブ、グループ化、検索、列のリセットを参照してください。

メモ

組織ドロップダウンが空の場合は、通常、次のいずれかが原因です。組織が Microsoft Entra ID テナントに接続されていない、アカウントがどの組織のメンバーでもない、またはアクセス許可 **user_impersonation** がまだ承認されていない。テナント管理者に **API アクセス**ページの確認を依頼し、Azure DevOps の**組織の設定 > Microsoft Entra** も確認してください。

サポートされるクエリの種類

クエリドロップダウンには、次の種類の保存済みクエリが表示されます。

Azure DevOps のクエリの種類	表示方法
作業項目のフラット リスト	表形式。並べ替えとグループ化ができます。
作業項目のツリー	展開できる階層。並べ替えとグループ化は無効になります。
作業項目と直接リンク (one-hop)	ツリー クエリと同様の、展開できる階層。

フォルダーは自動的に開かれるため、**Shared Queries** と **My Queries** のクエリが、パスとともに一覧に表示されます。その他の種類のクエリは表示されません。クエリは、そのクエリ自体の列と順序で読み込まれます。1 つのクエリで読み込まれる作業項目は、最大 1000 件です。

その他の設定

グループ	設定	内容
アイテムの制限	行の制限	5 ～ 100 のスライダー。一度に表示する行数を指定します。
アイテムの制限	改ページ ナビゲーション	**指定したサイズのアイテムをまとめて表示する。** を選ぶと、ページャーが表示されます。**指定したアイテム数に制限する。** を選ぶと、先頭の指定した件数の行だけが表示され、ページャーは表示されません。
アイテムの制限	位置	ページャーがオンのときに使用できます。下、上、上下から選択します。

グループ	設定	内容
表示	コンパクト一覧	行の高さを小さくします。
表示	コマンド バー	更新、列、グループ化を含むツール バーを表示または非表示にします。
その他	自動的に更新する	オフ、または 1、5、10、15、30、60 分ごと。
その他	クイック アクション	各行にアクション ボタンを追加します。既定ではオフです。
詳細情報	ライセンス情報	製品のライセンスの状態を表示します。

自動更新は、ページが表示モードで開かれていて、ブラウザーのタブが表示されている間だけ、バックグラウンドで静かに行われます。Web パーツのタイトルは、一覧の上で直接編集します。

ヒント

閲覧者に必要な列だけを含む専用のクエリを Azure DevOps に作成し、**Shared Queries** に保存しておくと便利です。閲覧者は、クエリを変更せずに、列メニューで自分用に列を追加または削除できます。以前の手順ガイドについては、KB10209. Azure DevOps Query Viewer Web パーツのインストールと構成方法と KB50003. SharePoint Online で Azure DevOps クエリの結果を表示する方法を参照してください。一覧から作業項目を変更する方法については、KB10306. Azure DevOps Query Viewer: クイック アクション (状態の変更、割り当て、期限の設定、コメントの追加)を参照してください。

用語

Microsoft 365

Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Teams

Microsoft Teams は、オンライン会議、ライブ イベント、ドキュメント共有の機能を備えた、ビジネス コミュニケーション向けのチャット ベースのコラボレーション プラットフォームです。

SharePoint

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

リスト

リストは、SharePoint のストレージ単位です。リストには、さまざまな種類の列、コンテンツ タイプ、ビューを含めることができます。ドキュメント ライブラリは特別な種類のリストであるため、リストの機能を継承します。